

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書 ( 様 式 例 )

講座の名称	准看護科													
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	8	6	0	0	5	—	1	5	1	0	0	1	—	7
講座の創設年月日	昭和36年 4月 1日			専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 平成33年 3月31日まで			過去一 年の講 座実 績	入講者数(20人)			修了者数 (13人)			
訓練期間	24ヶ月						総訓練時間			1890時間				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル							<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 准看護師 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職学位 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等							
							②①に係る資格・試験等の実施機関名称							関西広域連合
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等							保健師助産師看護師法に定められた要件を満たしている事							
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況							医療介護関係施設(病院・診療所・介護老人保健施設等)において、准看護師として就業。							
2. 教育訓練の内容														
教 科 (カリキュラム)							時 間		使 用 教 材 名					
基礎科目							105 時間		看護英会話入門					
国語・英語・外国語									看護学入門					
専門基礎科目							385 時間		図説包帯法					
人体の仕組・食生活と栄養・薬物と看護・疾病の成立									写真でわかる基礎看護技術					
感染と予防・看護と倫理・保健医療と福祉・看護と法律									写真でわかる臨床看護技術 1					
患者の心理									写真でわかる臨床看護技術 2					
専門科目							1400 時間		はじめてのフィジカルアセスメント					
基礎看護・成人看護・老年看護・母子看護・精神看護・臨地実習									病気が見えるVol 3					
									病気が見えるVol 4					
									病気が見えるVol 6					
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等							なし							
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準							一般入試は中学卒業以上 推薦入試は高校卒業以上(指定校卒業見込み者)							
③その他														

〔 特 記 事 項 〕

--

# 専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度の修了者数	13	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	20	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	13	人	受験率(③/②)	65.0	%
④ ③のうち合格者数	13	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	2	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	9	人			
<p>※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。                      この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。</p> <p>※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。</p>					
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数			5	人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1	人		②A: 就業者計
	2 非正社員、派遣社員	2	人		
	3 その他の就業(自営業等)			3	
	4 非就業	2	人		②B: 非就業者計
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	1	人		③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる			人	
	3 社内外の評価が高まる			人	
	4 円滑な転職に役立つ	2	人		
	5 趣味・教養に役立つ			人	
	6 その他の効果			人	
	7 特に効果はない			人	
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	1	人		④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 希望の職種・業界で就職できる	1	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる			人	
	4 趣味・教養に役立つ			人	
	5 その他の効果			人	
	6 特に効果はない			人	
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	1	人		⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した			人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	1	人		
	4 就職していない			人	
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	1	人		⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	4	人		
	3 どちらとも言えない			人	
	4 やや不満			人	
	5 大いに不満			人	
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		カリキュラムの進行に応じテストを実施し習得度を確認。看護技術については、個人の能力に合わせて指導内容を検討し、技術試験において習得度を確認。希望者には放課後などを利用して教務が個別に指導。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

# 専門実践教育訓練明示書（様式例）

6. 受講効果の把握方法														
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	講義を3分の2以上出席し、学科試験が60点以上を合格とする。													
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じたテストを実施し習得度を確認。看護技術については、個人の能力に合わせて指導内容を検討し、技術試験において習得度を確認。希望者には放課後などを利用して教務が個別に指導。													
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率が出席すべき日数の3分の2以上あり、試験(科目修了試験・卒業試験)及び実習に合格すること。													
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	試験(科目修了試験・卒業試験): 全科目が60点以上あること。 実習: 実習評価が60点以上あること。													
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法														
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問を随時受付、必要に応じて個別指導を行う。													
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	資格試験受験情報、進学コース受験情報、求人情報の情報提供。場所を決めてパンフレット等の提示を行っている。希望者には徳島県ナースセンターが行っている就職ガイダンスの紹介などを行っている。													
8. その他の事項														
指定教育訓練実施者名及び代表者名	一般社団法人 三好市医師会 (代表者名: 内田 知行)													
住所及び連絡先	徳島県三好市池田町シマ842-1 TEL 0883-72-0586													
施設名称及び施設長名	三好市医師会准看護学院 (施設長: 田中 勉)													
住所及び連絡先	徳島県三好市池田町シマ842-1 TEL 0883-72-0586													
苦情受付者	氏名 横関 昭徳 所属 事務	事務担当者	氏名 横関 昭徳 所属 事務											
連絡先	TEL 0883-72-0586	連絡先	TEL 0883-72-0586											
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		859,780 円											
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		70,000 円											
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>第1期</td><td style="text-align: right;">249,780 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td style="text-align: right;">180,000 円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td style="text-align: right;">180,000 円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td style="text-align: right;">180,000 円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td style="text-align: right;">円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td style="text-align: right;">円</td></tr> </table> (うち、必須教材費 69,780 円)	第1期	249,780 円	第2期	180,000 円	第3期	180,000 円	第4期	180,000 円	第5期	円	第6期	円
第1期	249,780 円													
第2期	180,000 円													
第3期	180,000 円													
第4期	180,000 円													
第5期	円													
第6期	円													
① 一括払														
② 分割払														
③ 両方可														
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		286,484 円											
	① 任意の教材費(税込額)		円											
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円											
	③ 施設維持費(税込額)		120,000 円											
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		166,484 円											
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,146,264 円											